

全学共通科目「男女共同参画とジェンダー」(2014年)

目的…学生に男女共同参画を推進する必要性や目的等を学修させ、持続可能な社会を形成する一員としての資質を育成する。

対象…学部学生(全学共通科目・総合科目I)

授業日時…木曜日5時間目(17:00~18:30)

場所…国際文化学部キャンパス K401教室

授業内容案

1. 10/2            ガイダンス  
(人間発達環境学研究科 朴木佳緒留、男女共同参画推進室 中原朝子)
  
2. 10/9            男女共同参画とジェンダー入門  
                         男女共同参画、ジェンダーとは何か、これらの概念がつくられた経緯を概観し、何故このような学習が必要なのか、受講生と一緒に考える。  
(人間発達環境学研究科 朴木)
  
3. 10/16           現代日本のジェンダー問題概要(その1)  
                         現代日本のジェンダー問題について、労働と生活の問題に焦点をあてて概説し、ジェンダー問題の基本を考える。(朴木)
  
4. 10/23           現代日本のジェンダー問題概要(その2)  
                         現代日本のジェンダー問題について、ジェンダー再生産のメカニズム(教育)の問題に焦点をあてて概説し、ジェンダー問題の基本を考える。(朴木)
  
5. 10/30           神戸大学の男女共同参画推進  
                         神戸大学では平成19年度に男女共同参画推進室を設置し、「理系女性研究者支援」を中心にした支援策を展開している。「科学と男女共同参画」を中心に大学における男女共同参画推進策について神戸大学の現状やめざすところを述べる。(中原)
  
6. 11/6            「ジェンダーとセクシュアリティ」  
                         私たちの性、ジェンダー、セクシュアリティは、個人のことのみならず、国連安保理や人権委員会といった国際機関が取り上げる事柄だ。ジェンダーとセクシュアリティのそういった今日的な意味を一緒に探る。(国際文化学研究科 青山薫)
  
7. 11/13           「あなたと私の素敵な関係～デートDVを防止するために」(ウィメンズネット・こうべ)(公開授業)  
                         「DV」を「愛情」と「勘違い」していませんか?この二つは、密接な関係にある場合があります。よりよいコミュニケーションと愛情を育む

ための方法を考えます。

8. 11 / 20 倫理とジェンダー  
人間の平等や公私の区別とジェンダーとの関わり、ケアの倫理と正義の倫理の関係などのトピックを解説しながら、倫理とジェンダーについて検討する。(国際文化学研究科 宗像恵)
9. 11 / 27 世界のジェンダー問題 (留学生の発表)  
数人の留学生に自国のジェンダー問題について発表してもらい、ジェンダーは身近な、そして世界的な問題であることを理解する。合わせて、日本のジェンダー問題について「世界の中の日本」という視点で相対化した理解を深めたい。(留学生センター R. ハリソン)
10. 12 / 4 家族とジェンダー  
ジェンダーという視点からみた日本家族の特徴を諸外国と比較しながら議論する。とくに「近代家族」のもつ性別役割分業という特性に注目しながら議論を進める。(人文学研究科 平井晶子)
11. 12 / 11 経済とジェンダー  
日本の労働と生活の実態を各種の統計調査から確認するとともに、それに関連する政策を、性と世代に注目しながら概観する。その上で受講生が望む働き方や生活について議論する。(男女共同参画推進室 中原朝子)
12. 12 / 18 法とジェンダー  
男女共同参画社会において、仕事と私生活のバランス、いわゆる「ワークライフ・バランス」が、男性にとっても女性にとっても、今までとは異なった形で重要になってきています。これが法の世界でどのように反映されてきているのか、法制度の展開を見ながら一緒に考えましょう。(法学研究科 関根由紀)
13. 1 / 8 国際関係とジェンダー  
武力紛争や平和構築などにおいて、女性と男性は同じようにかかわり、同じような影響を受けるか。「ジェンダー」というレンズを通して、武力紛争を中心に国際関係を見る。(海事科学研究科 岡田順子)
14. 1 / 15 ジェンダー問題についてのまとめのディスカッション (朴木、中原)
15. 1 / 22 予備 (朴木、中原)